

第4回 地震・津波に関するシンポジウム プログラム

－水循環施設の合理的な災害軽減対策研究小委員会 成果報告－

本シンポジウムは、平成24年度から平成26年度まで3年間活動した前小委員会に引き続き、平成27年度から平成30年度までに活動した本小委員会の研究成果を報告するものです。

住居地区より少し離れた海岸線に立地することの多いポンプ場や水処理センターは、国並びに学会が推奨するレベル1対応やレベル2対応に準拠するだけでよいと言うだけでは必ずしも住民の合意を得られないことが鮮明になってきました。そこには経済活動とのバランスや自然との適正な融和など従来の自然科学・技術の延長だけでは解決できない多くの問題点が存在していることが理解されるようになった背景があります。当然、科学・技術もこれらの要望に合わせ提案・開発していく必要があります。

本小委員会は、このような諸問題の解決を図るべく、以下の5WGに分かれて研究活動を行ないました。このような形で小委員会活動を行なうのは最後となりますので、是非ご参加ください。

委員長：宮島昌克（金沢大学） 副委員長：有賀義明（弘前大学）

幹事長：小西康彦（日水コン） 副幹事長：楢田泰子（神戸大学）、小野祐輔（鳥取大学）

WG1：免震・免波構造の性能開発：主査；堀宗朗、幹事；西本安志（シバタ工業）、渡辺高志（構造計画）、坂下克之（大成建設）

WG2：液状化地盤における管路の対策：主査；飛田哲男（関西大学）、幹事；楢田泰子（神戸大学）、宮本勝利（日水コン）、佐藤清（大林組）

WG3：石川県輪島市をフィールドとしたハード・ソフト対策：主査；池本良子（金沢大学）、幹事；宮里直樹（群馬高専）、山中明彦（pckk）、安田誠宏（関西大学）

WG4：給水タンク・配水タンクの地震被害軽減対策：主査；坂井籐一（FS研）、幹事；大峯秀一（日水コン）、井上涼介（茨城大学）

WG5：清水地区における直接被害・間接被害のリスク評価：主査；原田賢治（静岡大学）、幹事・石野好彦（静岡県）、瀬尾直樹（フジヤマ）、嶋原良典（防衛大）

－ 記 －

- ◆ 主催：土木学会地震工学委員会・水循環施設の合理的な災害軽減対策研究小委員会（委員長：宮島昌克 金沢大学教授）
- ◆ 後援：関西ライフライン研究会（座長：澤田純男 京都大学教授）
- ◆ 開催日：2018年9月12日（水）13：00 ～ 17：00
- ◆ 場所：三宮コンベンションセンター 503号室（スクール形式で93席）
住所：神戸市中央区磯辺通2-2-10（三宮駅より5分、神戸市役所の東側住所）
TEL：078-291-5025
- HP <http://www.oneknot-scc.jp/>
- ◆ 参加費：無料
- ◆ 申し込み方法：土木学会HP (<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>) から

お申込み下さい。関西ライフライン研究会会員の方は、通信欄に「関西ライフライン研究会」とご記入ください。お申込み後、メール参加券を送信致しますので、メール本文をプリントアウトして当日ご持参下さい。

- ◆ 参加申込期限：9月5日（水）
- ◆ 定員：90名

プログラム内容

	プログラム名	時 間	講 師
1	開会挨拶	13：00～13：05	有賀義明（小委員会副委員長・弘前大学）
2	小委員会活動概要の報告	13：05～13：15	宮島昌克（小委員会委員長・金沢大学教授）
3	関西ライフライン研究会の活動概要について	13：15～13：25	鋤田泰子（関西ライフライン幹事長・神戸大学准教授）
4	2011年東北地方太平洋沖地震における上下水道施設の被害の特徴	13：25～13：50	宮島昌克（小委員会委員長・金沢大学教授）
5	2016年熊本地震における上下水道施設の被害の特徴	13：50～14：15	宮本勝利・小西康彦（日水コン）
6	WG4の成果報告： 「給水タンク・配水タンクの地震被害軽減の研究」	14：15～14：45	井上涼介（茨城大学）
7	休憩	14：45～14：55	
8	WG2の成果報告： 「液状化地盤における建物近傍の地震時挙動と地震対策」	14：55～15：25	飛田哲男（関西大学）
9	WG1の成果報告： 「沿岸域に位置する水循環施設のたけの免震・免波技術の開発」	15：25～15：55	有賀義明（弘前大学）
10	WG3の成果報告： 「地域特性を考慮した最適な地震対策と被害軽減効果」	15：55～16：25	安田誠宏（関西大学）
11	WG5の成果報告： 「下水道施設における時間軸を考慮した効果的な地震・津波対策の研究」	16：25～16：55	原田賢治（静岡大学）
12	閉会挨拶	16：55～17：00	宮島委員長